



**「浜松宣言」実践事例**  
**【グッドプラクティス 応募フォーム】**

(1) 該当する行動指針と方向性を下記から選択し、○をつけてください。

【行動指針】		【方向性】	
○	1		緑や公園資源の多面的な価値を活用した、持続的で住みよいまちづくり
		○	人と自然の共生を基調とした環境創造
	2		新たな共通の活動の場(プラットフォーム)の構築
			地域住民・行政・企業・関連分野とのパートナーシップ確立
			能動的で魅力ある運営計画の実践
			持続的で汎用性のある技術開発
	3		質の高いパークマネジメント実現に向けての評価方法
			有能な人材の育成を含む戦略的な仕組みづくり
			緑や公園の再評価・新たな公園像の構築

(2) グッドプラクティスの内容をご記入下さい。\* は必須項目です。

ホームページ上に掲載することを前提にご記入ください。

*【活動テーマ】 (50字程度)	ボランティアとの協働による「里山」の保全管理と環境学習プログラムの提供
*【団体名】	まんのう公園インタープリターボランティアの会
*【活動場所】	国営讃岐まんのう公園 自然生態園
*【所在地】	香川県仲多度郡まんのう町吉野 4243-12
【問合せ先】	財団法人 公園緑地管理財団 まんのう公園管理センター 指導係
*【e-mail】	tomoaki-miura@prfj.or.jp
【Website】	http://www.mannoukouen.go.jp
*【実践事例】 事例について、目的・趣旨、活動内容、成果の3つの項目に分けてご記入ください。 (600字程度)	<p>&lt;目的・趣旨&gt;</p> <p>国営讃岐まんのう公園の東部にある自然生態園は、「ため池のある里山」の環境を復元したフィールドミュージアムです。</p> <p>本公園では、ボランティアと協働で園内の豊かな生物資源を持続させるため、保全活動を行っています。</p> <p>また、公園を訪れる方々に里山の自然、歴史、文化などを分かりやすく伝えるために、インタープリターボランティアを養成し、生物をはじめとする公園の資源を活用した環境学習の機会を来園者に提供しています。</p> <p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>下草刈りや落ち葉かきなどの作業をはじめとした自然生態園の草地、水田、雑木林、そしてため池の管理は、インタープリターボランティアと公園職員が共同で担当しています。また、保全管理作業の一部を、イベントとしてボランティアの指導のもと来園者にも体験していただくという企画にも取り組んでいます。</p> <p>このほかに、環境学習プログラムの一環として、ガイドウォーク(解説サービス)、里山自然観察会、ネイチャークラフトなど、公園の自然や生物が発する「メッセージ」を来園者に分かりやすく伝えるためのインタープリテーション活動を行っています。</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>地道な保全管理作業の結果、多様な生物がはぐくまれ、香川県レッドデータブックに記載されている希少生物や野草類の生育・生息が維持されています。またイベントには、リピーターの参加も多く見られるなど、これらの企画は、来園者にも支持されて定着してきています。</p> <p>インタープリターボランティアは、平成21年度時点で67名にもなりました。協働による活動では、今後も意欲的で質の高いボランティアを育成して、良好な里山の保全と環境学習プログラムの提供に努める予定です。</p> <p>また今後の供用範囲の拡張に伴い、来園者への森林活動体験の手ほどきに取り組むなど、活動の幅を広げていく予定です。</p>